

滝沢村水道事業経営計画(基本計画)を策定しました。

計画目標年度 平成26年度

滝沢村水道事業の現状と第5次滝沢村総合計画に基づく将来見通しを分析・評価した上で、めざすべき将来像を描き、その実現のための方策を示し、安全・快適な水の供給の確保や災害時にも安定的な給水を行うための施設水準の向上、そしてその基礎となる運営基盤の強化や技術力の確保などの課題に適切に対処するため「滝沢村水道事業経営計画(基本計画)」を策定しました。

計画の全文は、上下水道部やホームページでご覧いただけます。

~「信頼され続ける水道」をめざして~

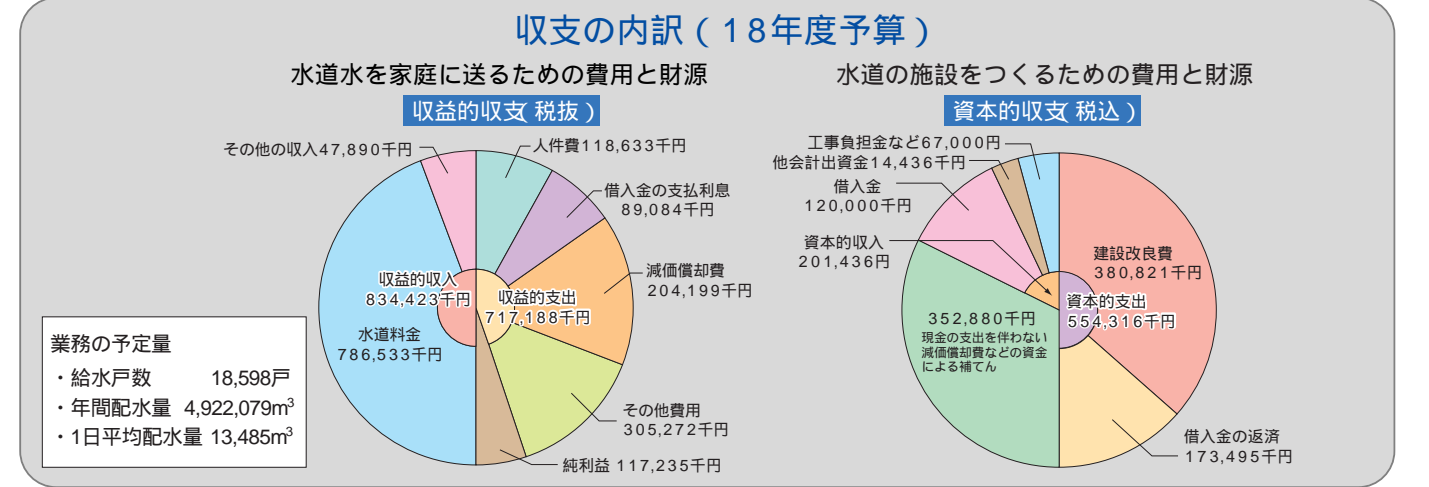
4つの施策目標



主な施策

- 水源の確保
- 水源の保全
- 未普及地域の解消
- 安全な水の供給
- 基幹施設の拡充
- 配水管網の整備
- 老朽施設の改良更新
- 給水サービスの向上
- バックアップ計画
- 災害時応急対策
- 料金体系の検討
- 経営情報システムの構築
- 外部委託の推進
- 人材育成・技術の継承
- 財政の健全化
- 顧客サービスの向上
- 漏水防止
- 環境への配慮

平成18年度 滝沢村水道事業会計予算の概要



平成18年度の主な事業

- 水源の確保**
 - 柳沢地区に新たな地下水源を確保するためボーリング調査を実施します。(開発予定水量 3,000m³/日)
- 水源の保全**
 - プロジェクトチームを立ち上げ水源保全について具体的に取り組んでいきます。
- 未普及地域の解消**
 - 未給水区域の配水管整備を行います。(L=220m)
- 安全な水の供給**
 - 水質検査計画に基づき水質の安全性を常に監視し確保します。
- 基幹施設の拡充**
 - 幹線配水管について、道路改良工事に併せて耐震化します。(L=330m)
- 配水管網の整備**
 - 安定供給を確保するため配水管の整備を行い、併せて耐震化します。(L=1,543m)
- 老朽施設の改良更新**
 - 施設の適正な維持管理の確保のため、老朽化した水道施設や配水管の更新を行い、併せて耐震化します。(L=4,831m)
- 給水サービスの向上**
 - 施設の高品質の水道水の提供と漏水防止のため鉛製給水管の更新を行います。(300箇所)
 - 貯水槽水道の管理指導を実施します。(5年で一巡)
- バックアップ計画**
 - 緊急時の応急給水確保のため、柳沢低区浄水場に緊急遮断弁(右図)を設置します。
- 災害時応急対策**
 - 災害時の応急給水をより効率的に行うため、応急給水計画の策定及び応急復旧計画の検討を行います。
- 料金体系の検討**
 - 基本料金やメータ使用量などの体系の見直しを検討します。
- 経営情報システムの構築**
 - 事務の効率化やサービスの向上、災害時の迅速な対応をめざし、3カ年計画の初年度である今年度は、データ整備、管網図や竣工図のデータ化を行います。
- 外部委託の推進**
 - 浄水場の運転管理・保守業務委託範囲の拡大や統合について、検討を進めます。また、検針業務について、シルバー人材センターへの委託を推進します。
- 人材育成・技術の継承**
 - 水道技術(経営)の継承と育成を図るため、育成支援マニュアルを策定します。
- 財政の健全化**
 - 他の工事との連絡調整の徹底によるコスト削減を行います。
 - 健全経営を維持します。
- 顧客サービスの向上**
 - 水道広報紙2回発行など情報提供を推進します。
 - 出前講座の利用拡大や人々との協働を推進します。
- 漏水防止**
 - 漏水調査や配水管更新により水資源の有効活用を図ります。(有効率: H17 91.4% H18 目標92.0%)
有効率=浄水場で送られた水が有効に使われた割合を示すもので漏水が増えると低くなります。
- 環境への配慮**
 - 村の環境マネジメントシステムの活用を継続し、環境保全や改善に取り組みます。
 - 浄水汚泥の再利用・建設副産物の有効利用を徹底します。

姥屋敷水源ボーリング工事
湧水の瞬間(平成15年度)

緊急遮断弁
大漏水がおきた際、自動的に弁が閉まり配水池からの流出や二次災害を防ぎます。

老朽配水管の更新工事がすすめられている
上山団地

感謝状の贈呈

長い間ありがとうございました



永年にわたり、水道事業に貢献した串原信市さんと井上武尾さんに、6月5日柳村村長より感謝状が贈呈されました。串原さんは浄水場の警備員及び運転管理員として、井上さんは水道検針員として、お二人とも24年にわたり、村の水道事業のために尽力されました。